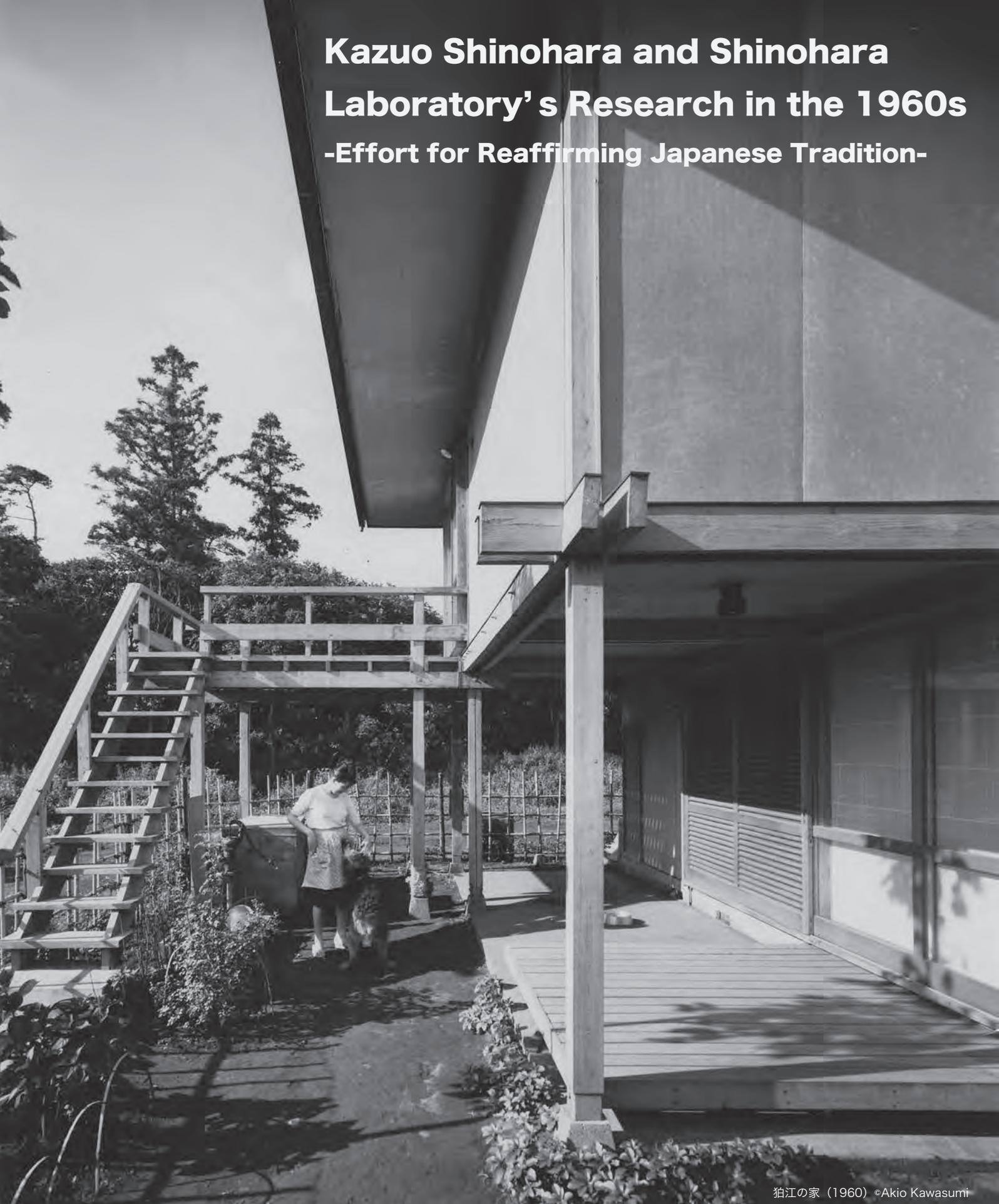


Kazuo Shinohara and Shinohara Laboratory's Research in the 1960s -Effort for Reaffirming Japanese Tradition-



粕江の家 (1960) ©Akio Kawasumi

東京科学大学博物館 2025 年特別展示

篠原一男と篠原研究室の 1960 年代 -「日本伝統」への眼差し-

2025.4.19 (土)~5.2 (金) 創立 70 周年記念講堂 2 階ギャラリー

開催時間：10:30~17:30 期間中無休 入場無料

篠原一男と篠原研究室の1960年代 -「日本伝統」への眼差し-

—東京工業大学のプロフェッサー・アーキテクトとして

篠原一男は、谷口吉郎、清家清から続く「東工大のプロフェッサー・アーキテクト」の系譜を継ぐ建築学科の教授/建築家である。

その抽象的で象徴性の強い一連の住宅作品の意匠は、「住宅は芸術である」という思想の表明とともに建築界の注目を集め、1972年に「未完の家」以降の一連の住宅で日本建築学会賞を受賞する。

篠原の鋭敏な感性は、やがて「美」の対象を現代都市・東京の風景にまで拡張、それを「カオスの美」と称して自らの創作原理に取り込み、代表作である「東京工業大学百年記念館」に結実させた。

逝去後の2010年、ヴェネツィアビエンナーレは世界した芸術家に対しては異例のヴェネツィアビエンナーレ記念金獅子賞を故人の篠原に授与した。これは、篠原が世界的水準で後の世代に多大な影響を与え続けている事実を示している。

—「日本伝統」への強い関心 -その構成原理の追求-

始まりは「日本伝統」への強い関心であった。東京物理学校（現・東京理科大学）数学科を卒業し東京医科歯科大学で数学の教鞭を執っていた篠原は、学会の合間に訪れた奈良の古社寺でその美に強く惹かれ、決意して1950年に東工大の建築学科に学士入学する。清家清のもとで学び、1953年に図学講座の助手として本学教員としての歩みを始めた篠原は、1954年に処女作「久我山の家」を発表した。

「一家はきのこである」1960年の「住宅論」で土地の生活に根ざした作りのない民家の美しさをそう讃えた篠原は、その伝統的な空間の原理を「平面の分割」と「土間」に見出し、それを創作の手法として「から傘の家」（1961）や「白の家」（1966）などの名作を発表し、注目を集める。

1962年に助教授となった篠原は、篠原研究室の活動として3年間にわたり学生とともに伝統的集落の実測調査を実施した。それは民家の内部空間に感じた「美」の構成原理を外部との関係性の中で捉え直し、伝統的集落の美しさを創作原理として捉えようとする更なる試みであった。

—次世代への遺産継承

篠原自身が「第一の様式」と呼んだ1960年代の住宅作品は、竣工から60年を過ぎた今日、篠原の作品を慕う次世代の手に渡り、大切に保存修復工事が行われている。

篠原の設計活動、芸術表現の元となった設計図面やスケッチ、写真や模型もまた、本学の博物館にて大切に保存継承するべく、アーカイブ化が進められている。

そして、歴史的建造物としての評価*を受けた百年記念館には、谷口吉郎設計の創立70周年記念講堂、清家清設計の事務局一号館とともに、過去と未来を繋ぎ、大岡山キャンパスにアイデンティティを与え続ける存在としての役割が期待されている。

山崎鯛介

*Docomomo Japan 2023 年度選定 (No.289)

篠原研究室による金沢市観音町の実測調査（1966）



篠原一男 (Kazuo Shinohara, 1925-2006)

静岡県生まれ (1925)
東京物理学校卒業 (1947)
東京医科歯科大学で数学の教鞭をとる (1947-50)
東京工業大学建築学科学士入学 (1950)
同大学建築学科卒業 (1953)
同大学図学講座 助手 (1953-)、助教授 (1962-)、教授 (1970-)
ヨーロッパ5都市での個展開催 (1979-80)
北米5都市での個展開催 (1980-83)
同大学建築学科教授 (1982-1986)
東京での凱旋帰国展 (1984)
篠原アトリエを主宰 (1986-)

記念シンポジウム / 「篠原一男と篠原研究室の1960年代」

日時：2025年4月19日（土）14:30～17:00（無料、予約不要）

会場：創立70周年記念講堂（直接会場にお越し下さい）

登壇者

山崎鯛介 (Taisuke Yamazaki) 東京科学大学博物館 教授

大塚 優 (Masaru Otsuka) 東京科学大学 助教

木津直人 (Naoto Kizu) 東京科学大学 助教

坂本一成 (Kazunari Sakamoto) 東京工業大学 名誉教授

白澤宏規 (Hironori Shirasawa) 東京造形大学 名誉教授

企画：東京科学大学博物館

キュレーター：山崎鯛介、アシスタントキュレーター：小倉宏志郎

後援：Docomomo Japan / 建築史学会 / TIT 建築設計教育研究会

/ 冬夏会

協力：篠原一男生誕百年企画委員会 / 東京科学大学 山崎鯛介研究室

東京科学大学博物館

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1, CH-1

TEL：03-5734-3340（博物館事務室）

最寄り駅：東急大井町線・目黒線「大岡山駅」徒歩1分

